

23PO-am044

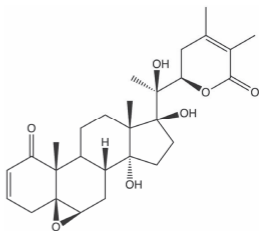
植物由来抗腫瘍活性成分の臨床応用のための探索的研究 (16) - シマホオズキ地上部について -

○中野 大輔¹, 石塚 賢治², 内田 早央里¹, 出石 ゆりえ¹, 佐藤 文¹, 土橋 良太¹, 大川 雅史¹, 田村 和夫³, 金城 順英¹ (¹福岡大薬, ²鹿児島大医, ³福岡大医)

【目的】成人 T 細胞白血病 (Adult T-cell Leukemia: ATL) の原因でもあるヒト T リンパ球向性ウイルス (HTLV-1) が発見され、30 年以上も経つが未だ十分な成果は挙げられておらず、患者やキャリアの不安も拭い去れていない。そこで、我々は植物由来抽出物のライブラリーの中から造血器腫瘍細胞株に対して、選択的な細胞増殖抑制効果を持つ抽出物をスクリーニングし、いくつかの有用な植物を見出した¹⁾。今回、その一つであるシマホオズキ地上部の活性成分の探索研究を行ったので報告する。

【方法】シマホオズキ (*Physalis peruviana*) の地上部 (10kg) を MeOH で抽出し、*n*-Hexane / 80%MeOH で溶媒間分配を行った。さらに、80%MeOH 層 (320g) を Diaion HP-20, silica gel, ODS, HPLC など各種クロマトグラフィーを用いて単離・精製を行い PPe-1~PPe-5 と仮称する化合物を得た。

【結果・考察】 PPe-1~PPe-5 は各種スペクトルデータと文献値を比較し、Withanolide E を始めとする withanolide 類であった。また、これらの細胞増殖抑制活性を測定した結果、Withanolide E に強い活性が認められた。



1) Nakano D. *et al*, *J. Nat. Med.*, **71**, 170-180 (2017)